

作成 2010年11月 ecobioinfo.com (β版)

はじめに

バイオインフォマティクスとは生物学(biology)と情報科学(informatics)を合成した言葉 です。一般的には、生物学を情報的観点から研究すること、生命現象の情報処理、生 物学における情報処理技術の応用…とされています。

例えば、DNAから読み取った情報から新しい遺伝子を見つけ出すこと、タンパク発現の解析、遺伝情報からの進化の研究、アミノ酸配列からの生体物質立体構造解析、生体分子間相互作用などコンピュータを活用した生物研究が行われています。そして、それらの情報の共有と有効活用も重要なテーマです。

バイオインフォマティクスと呼ばれる分野が生まれた背景には遺伝学の発展がありま す。遺伝とは遺伝情報が子孫に伝わっていく現象であるので、情報科学的な観念によ る研究の対象としては都合の良いものでした。遺伝情報の担い手であるDNAという高 分子化合物はATGCの4種類の塩基の組み合わせによって遺伝情報を保持し、それを 複製することによって遺伝情報を子孫に伝えていきます。コンピュータに例えるなら、 DNAは4種類の情報の配列を保持する記憶装置で、遺伝とはデータをコピーすること とも言えます。そして、バイオインフォマティクスの初心者はまず遺伝子の解析から始め るのが通例となっていて、古典的な遺伝子解析ソフトウェアである BLAST や ClustalW などは入門者が必ず通った道とも言えます。

現在ではWebシステムの発達、特に操作性や機能性を重視した RIA(Rich Internet Application) 技術の発達で、特別なソフトウェアや膨大なデータをパソコンにインストールすることなしに様々なツールが使えるようになりつつあります。本書はそのようなWebシステムを活用したバイオインフォマティックス初心者の為の入門になることを目指しています。

2010年11月 S.Onda

必要なもの

Web アプリケーションはパソコンの機種やオペレーティングシステムには依存しませんが性能的には CPU 1GHz 以上、メモリ 512MB 以上、画面の解像度は 1024×768 以上を奨励します。 尚、本書では以下のサイトの Web システムを利用します。

国立遺伝学研究所 DNA Data Bank of JAPAN (DDBJ) http://www.ddbj.nig.ac.jp/index-j.html

ecobioinfo.com 遺伝子系統解析 Web システム http://www.ecobioinfo.com/

ブラウザは Microsoft Internet Explorer ver. 6.0 以上、Mozilla Firefox ver. 3.5 以上を奨励しま す。Flash を使ったシステムを使いますので、ブラウザには Flash Player がインストールされている 必要があります。

2 遺伝子情報をデータベースからさがす

番号 FJ966983 で検索すると、図 2-2 のよう な遺伝子情報が表示されます(この表示形

日本では国立遺伝学研究所のDDBJ(DNA Data Bank of JAPAN)に全国の研究者から寄せられた遺伝子情報が集められています。米国のGenBank、欧州のEMBLと並んで3大遺伝子データベースと呼ばれ遺伝子データを共有して

います。	 DDBJの紹介 	DDBJ の紹介
では、DDBJにアクセスして遺伝子を探して	▶ 利用の手引き	
みましょう。	▶ Q&A集	
	□塩基配列の登録	DDBJ; DNA Data Bank of Japan は, 欧州の <u>EMBL-E</u> International Nucleotide Sequence Database [®] を構
http://www.ddbj.nig.ac.jp/intro-j.html (現時点では図 2-1 のような画面です。)	→ <u>SAKURA</u> → <u>大量登録システム(MSS)</u>	的や国籍に拘わらず閲覧転用していただける世界科 じて NSD にデータを登録することができます。
DDBJのサイトには「検索」のメニューがあり、	▶ <u>データの修正・更新</u> ▶ <u>DDBJ Sequence Read</u>	DDBJは、文部科学省からの運営予算で国立遺伝学 す。わが国からの登録の99%以上が、DDBJを通じて
getentry, ARSA, BLAST などの機能が使え	Archive • DDBJ Trace Archive	DDBJの事業の柱は、研究者の方々が №SD を使って じ規則に従った表現で、できるだけ豊かな情報を記入
ます。 Getentry ではアクセッション番号	₿検索	ることです。 以下の項目別に DDBJ の位置づけをご紹介しており
(accession number)による検索ができます。	▶ <u>getentry</u> ▶ <u>ARSA</u>	塩基配列データベース構築の国際協調体制
プリセッション番号とは、登録された遺伝子 情報毎に一意につけられた ID です。文献な	▶ <u>TXSearch</u> ▶ <u>BLAST</u>	<u>DDBJ の運営体制</u> DDBJ の主な活動
どでアクセッション番号が書いてあればこれ		
で情報を得られます。例えば、アクセッション	叉 2-1	DDRIのトップページ

式は"フラットファイル"と呼ばれています)。DEFINITION はこの情報の要約で、Influenza A virus (A/Texas/04/2009(H1N1)) segment 7 matrix protein と書いてあることから、2009年にテキサス州 で見つかったA型インフルエンザウィルスのマトリクスタンパクの遺伝子であることが解ります。下の 方にある ORIGIN が遺伝子の塩基配列情報です(この場合はウィルスの RNA 配列と相補的な

DNA 配列として表記されています)。

ODDBJ DNA Data Bank of Japan getentry <u>アクセッション番号(accession number)</u> 等によるエントリ検索
▶EW [DDBJ へのエントリ登録者へのお問い合わせ] 注) DDBJ (INSDC) のデータに限り受付ます。
ID 指定: Accession Number ・ FJ966983 検索 クリア DNA データベース : ◎ DDBJ / GenBank / EMBL 出力形式 : フラットファイル(DDBJ) ・
Number = [FJ966983]
LOCUS FJ966983 972 bp cRNA linear VRL 01-JUN-2009 DEFINITION Influenza A virus (A/Texas/04/2009(H1N1)) segment 7 matrix protein 2 (M2) and matrix protein 1 (M1) genes, partial cds. ACCESSION FJ966983 VERSION FJ966983.1 DBLINK Project:37813 KEYWORDS . SOURCE Influenza A virus (A/Texas/04/2009(H1N1)) ORGANISM Influenza A virus (A/Texas/04/2009(H1N1)) Viruses; ssRNA negative-strand viruses; Orthomyxoviridae; Influenzavirus A
(中略)
ORIGIN 1 taaccgaggt cgaaacgtac gttettteta teateeeste aggeeeete aaageegaga 61 tegegeagg actggaaagt gtetttgeag gaaagaacae agatettgag geteteatgg 121 aatggetaaa gacaagaeea atettgteae ettgaetaa gggaattta ggattgtgt 181 teacgeteae egggeeegg aacaacatgg atagageagt taaaetatae aagaageee 241 taaatgggaa tggggaeeeg aacaacatgg atagageagt taaaetatae aagaagetea 301 aaagagaaat aacgtteeat ggggeeaagg agggggggeeggageeggeeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggageeggeeggageeggaeeggageeggageeggageeggeeggageeggaegeeggageeggeeggageeggee

図 2-2 getentry の検索ページと検索結果

ARSA はキーワードから検索できる機能です。例えば、インフルエンザウィルス H1N1型、テキ サス、2009 年で検索してみましょう。ARSA の Quick Search で図 2-3 のように検索条件に Influenza & virus & H1N1 & Texas & 2009 と入力して Search ボタンを押します。

■ Quick Search	All Databases ▼ Influenza & virus & H1N1 & Texas & 2009 Search 検索条件を複数入力する場合は、&(AND条件)、 (OR条件)、!(AND NOT条件)を指定することが可能です。
III Cross Search 下記で選択したデータベースの す。)共通項目について、項目を指定した詳細検索が可能で show all ❶ collapse all ■
Sequence Libraria Image: Sequence Li	Image: Second state Image: Second state Image: Second state Image: Second state
 Sequence Related Protein 3D Struct Metabolic Pathwa 	tures Cross Search

図 2-3 ARSA の検索ページ

図 2-4 の上段ような結果が表示されます。図 2-4 で Sequence Libraries の項目を見ると DDBJ に登録されている検索条件に該当する情報が 1796 件あることがわかります。数字をクリックすると図 2-4 下段のように遺伝子情報の一覧が表示され、アクセッション番号をクリックすると遺伝子情報が表示されます。

Query Influenza & virus & H1N1 & Texas & 2009						
Sequence Libraries						
DDBJ	<u>1,796</u>	DAD	2,234			
UniProt/Swiss-Prot <u>11</u> UniProt/TrEMBL <u>2,177</u>			<u>2,177</u>			
Sequence Related						
PROSITE	0	PROSITEDOC	0			

Primary Accession Number All Reset	Definition	Sequence Length
CY044233	Influenza A virus (A/San Antonio/PR921/2009(H1N1)) segment 2 sequence	2,274
CY044234	Influenza A virus (A/San Antonio/PR921/2009(H1N1)) segment 3 sequence	2,151
CY052283	Influenza A virus (A/Texas/43292238/2009(H1N1)) segment 7, complete sequence	987
CY052528	Influenza A virus (A/Texas/45103998/2009(H1N1)) segment 7, complete sequence	987
CY052529	Influenza A virus (A/Texas/45103998/2009(H1N1)) segment 6, complete sequence	1,420



BLASTは、入力された遺伝子と類似する遺伝子をデータベースから検索します。通常は未知 の遺伝子の塩基配列から類似する遺伝子を検索するのですが、ここでは練習として先ほどの getentryで獲得した塩基配列情報で検索してみます。この場合の検索条件入力は、「プログラム」 の項目は blastn (入力された塩基配列でデータベースの塩基配列から検索)、「検索結果」は www 表示とします。「塩基配列名、検索配列データ」の項目の COPY&PASTEの欄に前述の getentry で獲得した塩基配列(ORIGIN の部分の塩基配列)をコピーして「入力内容の送信」ボタ ンを押します(配列の番号などの余計な文字はサーバ側で無効化されます)。



図 2-5 BLAST の検索ページ

入力内容の送信後は「受付番号は、【………】です」のメッセージと、入力内容の確認画面となります。「View Result」ボタンを押すと、処理が終了している場合は結果を見ることができます。 終っていない場合は数分待った後に「View Result」ボタンを押してください。処理結果は図 2-6のようになります。この図では、Influenza A virus H1N1の遺伝子が類似の遺伝子として検索されているので、入力された遺伝子は A 型インフルエンザ H1N1の遺伝子であることがわかります。 ____

[CLUSTALW SETUP (Graphical View(<= 100 sequences) | Text View(any number of sequences)

BLASTN 2.2.24 [Aug-08-2010]

Reference: Altschul, Stephen F., Thomas L. Madden, Alejandro A. Schaffer, Jinshui Zhang, Zheng Zhang, Webb Miller, and David J. Lipman (1997), "Gapped BLAST and PSI-BLAST: a new generation of protein database search programs", Nucleic Acids Res. 25:3389-3402.

Query= query (972 letters)

```
Database: /b/DNA.DATA/ddbjhum1.seq;
/b/DNA.DATA/ddbjhum2.seq;
/b/DNA.DATA/ddbjhum3.seq;
/b/DNA.DATA/ddbjhum3.seq;
/b/DNA.DATA/ddbjhum5.seq;
/b/DDBJNEW.DATA/new_ddbjhum.seq;
/b/DDBJNEW.DATA/new_ddbjhum.seq;
/b/DDBJNEW.DATA/new_ddbjpri.seq;
/b/DDBJNEW.DATA/new_ddbjpri.seq;
/b/DNA.DATA/ddbjro12.seq;
/b/DNA.DATA/ddbjro12.seq;
```

(中略)

Sequences producing significant alignments:	Score (bits)	E Valu	ue
G08949031G0894903.1 Influenza A virus (A/Oklahoma/01/2009(H1N1))		1885	0.0
G0894856 G0894856.1 Influenza A virus (A/North Carolina/05/2009(1885	0.0
G0457485[G0457485.1 Influenza & virus (A/Texas/05/2009(H1N1)) se		1885	0.0
G0457473[G0457473.1 Influenza A virus (A/Kansas/02/2009(H1N1)) s		1885	0.0
G0377073 [G0377073.1 Influenza & virus (A/Texas/04/2009(H1N1)) se		1885	0.0
G0323514 G0323514.1 Influenza A virus (A/Texas/10/2009(H1N1)) se		1885	0.0
G0232074 G0232074.1 Influenza A virus (A/Texas/11/2009(H1N1)) se		1885	0.0
G0221800/G0221800 1 Influenza A virus (A/Texas/04/2009(H1N1)) se		1885	0.0
G02002201G0200220 1 Influenza A virus (A/Texas/12/2009(H1N1)) se		1885	ññ
G0162192 G0162192 1 Influenza & virus (&/Mexico/4482/2009(H1N1))	···	1885	ñ ñ
G0160573 [G0160573 1] Influenza & virus (&/Texas/22/2009(H1N1)) se	· · · ·	1885	0.0
G0117050 [G0117050 1 Influenza & virus (&/Texas/08/2009(H1N1)) se	· · · ·	1885	0.0
C0117031 [C0117031 1 Influenza & virus (&/Texas/00/2000(HINT)) se	··· -	1225	0.0
E[021617]E[021617, 1] Influenza A virus (A/Texas/00/2000(IIINT)) se	···	1005 1005	0.0
E 1001600 LE 1001600 1 Influenza A virus (A/Texas/04/2000(HINT)) se	··· –	1005 1005	0.0
EU0000000 [FU000000.1 INFluenza A virus (A/Texas/00/2000(HINT)) se	···	1000	0.0
FJ300388 [FJ3003883.1 Intiuenza A Virus (A/Texas/04/2003(HINT)) se	···	1005	0.0
FJ966968 [FJ966968.1 Influenza A virus (A/lexas/05/2009(HINI)) se	··· _	1885	0.0
<u>UYU44254</u> [UYU44254.1 Intluenza A virus (A/San Antonio/PR923/2009(··· _	1885	0.0
<u>CY044246</u> [CY044246.1 Influenza A virus (A/San Antonio/PR922/2009(<u>1885</u>	0.0
CY0442381CY044238.1 Influenza & virus (A/San Antonio/PR921/2009)		1885 -	0.0

図 2-6 BLAST の検索結果

3 遺伝子相同性検索を微生物の検査に応用する

類似の遺伝子を検索すること(相同性検索)は、細菌やウィルスなどの微生物を調べるのにも利用できます。目には見えない微生物の種類を調べることは難しいので、遺伝子を利用した方法は比較的簡単で実用的な方法と考えられます。例えば、細菌の場合 16SrDNA と呼ばれる遺伝子は同じ種類の細菌では塩基配列の変異が少ないので種類を判別するのにも使われることもあります。例として、ecobioinfo.comの遺伝子系統解析 Web システムを利用した方法をあげます。

```
http://ecobioinfo.com/の「ソフトウェア」のページ
「遺伝子相同性検索 デモ版はここから起動」をクリック
(本稿執筆時点では作成途中の暫定公開です)
```

システムを起動すると図 3-1 のような画面が表示されます。「新規登録」ボタンを押して任意の半角英数字のユーザ ID とパスワードを入力してください。登録が完了するとメイン画面が使えるようになります。

			DNA系統	解析Webシス	テム Demo V	ver. 0.1
DNA相同性検索	マルチブルアライメント	遗伝子系統樹作成		ログイン	በグアウト	新規登録
<u>・検索配列デー</u>	- <u>タ:</u> テキストの貼り付け	、ファイルから読込 (数	国基配列のテキス	ストファイル、またはFa	astA形式ファイル)	
					ファイル読込	
·検索配列名:	(英数半角記号)					
<u>・検索対象デー</u>	<u>-9~-2:</u>					
🗹 バクラ	テリア 16SrDNA (DDBJ)					
<u>・検索アルゴリ</u>	<u>174:</u>					
 Fast 	A (処理時間 5 ~ 20分)	🔵 Ssearch (Smith-Waterr	man)(処理時間 1~	~ 3時間)	
入力内	四容の送信 処3	理待ちリスト			処理結果参照	ł

図 3-1 遺伝子系統解析 Web システムのメイン画面

ここで、表 3-1 に示す「ある細菌」の 16SrDNA 遺伝子の塩基配列を入力して、この細菌がどのような細菌か調べてみましょう。この配列をコピーして「検索配列データ」の入力域に貼り付けてください(この塩基配列はホームページからダウンロードできますので、ダウンロードしたファイルを読み込んでも構いません)。「検索は配列名」には適当な英数字を30文字以下で入力してください。

aacacatgcaagtcgaacggtgacgaggagcttgctcctccgatcagtggcgaacgggtg agtaacacgtgagtaacctgccccagactctggaataacagttggaaacagctgctaata ccggatacgagacggagaggcatctctaccgtctggaaagtttttcggtctgggatggac tcgcggcctatcagcttgttggtgaggtagtggctcaccaaggcgacgacgggtagccgg cctgagagggcgaccggccacactgggactgagacacggcccagactcctacgggaggca gcagtggggaatattgcacaatgggcgaaagcctgatgcagcaacgccgcgtgagggatg acggccttcgggttgtaaacctctttcagtagggaagaagcgaaagtgacggtacctaca gaagaagcaccggctaactacgtgccagcagccgcggtaatacgtagggtgcgagcgttg tccggaattattgggcgtaaagagcttgtaggcggtttgtcgcgtctgctgtgaaaatcc ggggctcaaccccggacttgcagtgggtacgggcagactagagtgtggtaggggagactg gaattcctggtgtagcggtgaaatgcgcagatatcaggaggaacaccgatggcgaaggca accctggtagtccacgccgtaaacgttgggaactaggtgtgggtctcattccacgagatc cgtgccgcagctaacgcattaagttccccgcctggggagtacggccgcaaggctaaaact caaaggaattgacgggggcccgcacaagcggcggagcatgtggattaattcgatgcaacg cgaagaaccttaccaaggcttgacatataccggaaacacccagagatgggtgccccgcaa ggtcggtatacaggtggtgcatggttgtcgtcagctcgtgtcgtgagatgttgggttaag tcccgcaacgagcgcaaccctcgttctatgttgccagcgcgtaaaggcggggactcatag gagactgccggggtcaactcggaggaaggtggggatgacgtcaaatcatcatgcccctta tgtcttgggcttcacacatgctacaatggccggtacaaagggctgcgaaatcgcgagatg gagcgaatcccaaaaaaccggtctcagttcggattggggtctgcaactcgaccccatgaa gtcggagtcgctagtaatcgcagatcagcaatgctgcggtgaatacgttcccgggccttg tacacaccgcccgtcaagtcacgaaagtcggtaacacccgaagccggtggcccgaaccct tgtggggga

表 3-1 サンプルの DNA 塩基配列

遺伝子相同性検索の方法(検索のアルゴリズム)には、前述の BLAST や FastA, Ssearch など幾つかの方法があります。Ssearch は生物学的に厳密な結果を得られる Smith-Waterman アルゴリズムを用いていますが検索には時間がかかります。BLAST は生物学的な意味で厳密さに欠ける方法ですが、他に比べて高速なので広く実用的に使われてます。FastA はデータベースの遺伝子との相同性が低い配列でも検索できると言われています。

遺伝子系統解析 Web システムの FastA での処理時間はサーバの状態にもよりますが5分~20 分程度かかります。システムのメイン画面で「結果待ちリスト」ボタンを押すと現在実行中の処理を 確認できます。他の人が使用中の場合は通常よりも時間がかかるのでお待ちください(現在デモ 版なのでサーバ処理速度は遅いです)。

ここでは、「検索アルゴリズム」は FastA を選択して「入力内容の送信」ボタンを押してください。

・検索配列データ: テキストの貼り付け、ファイルから読込(塩基配列のテキストファイル、またはFastA形式ファイル)
testdata.bxt 7ァイル就込
aacacatgcaagtcgaacggtgacgaggagcttgctcctccgatcagtggcgaacgggtgagtaacacgtgagtaacctgccccag tccggaattattgggcgtaaagagcttgtaggcggtttgtcgccgtctgctgtgaaaatccggggctaacccccggacttgcagtgg ggtcggtatacaggtggtgcatggttgtcgtcagctcgtgtcgtgagatgttgggttaagtcccgcaacgagcgcaaccctcgttc
·検索配列名:(英数半角記号) sample
 ・検索対象データベース:
✓ パクテリア 16SrDNA (DDBJ) □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期/リース+新着データ(※未対応)
·検索アルゴリズム:
● FastA (処理時間 5 ~ 20分)
入力内容の送信処理待ちリスト処理結果参照

図 3-2 検索条件入力

実行が終了すると処理結果が表示されます。処理結果(図 3-3)では Tetrasphaera elongataの相同性が高いのでサンプルの細菌が Tetrasphaera elongata であると推定されます。

処理結果					Domo ver. 0.1
testonda1					ファイル保存
サンプル名 DNA配列					
sample aacacatgcaagtcgaacggtgacgaggagcttgctcctccgat			cttgctcctccgatcagtg		
アクセッション No.	生物種(株)		相同性(%)	DNA	配列
AB051430_1	Tetrasphaera elo	ngata	100.0	aacacatgcaagtcga	acggtgacgaggagc *
AB030911_1	actinomycete Lp	2 165	99.6	gacgaacgctggcgg	cgtgcttaacacatgca
AB072496_1	Tetrasphaera du	odeca	97.4	agagtttgatcctggc	tcaggacgaacgctgg
EU707564_1	Tetrasphaera sp.	YC67	97.5	catgcaagtcgaacg	gtgaccgaggaagctt
Y14597_1	Tetrasphaera jer	ikinsii	97.1	gatttgatcctggctca	aggacgaacgctggcg
X85212_1	Tetrasphaera jer	ikinsii	97.0	agtttgatcctggctca	aggacgaacgctggcg
X85211_1	Tetrasphaera jen	kinsii	97.0	agtttgatcctggctca	aggacgaacgctggcg
AF125091_1	Tetrasphaera aus	stralie	96.8	ggttcaggacgaacg	ctggcggcgtgcttaac
00003010 1	~ ····				
キャンセル	全データ詳細	相同性(の詳細	青報の取得	ッルチブルアライメントへ

図 3-3 処理結果

仮に、実行中に他の処理を行う場合は実行待ち画面で「非同期実行」ボタンを押してメイン画面 に戻ってください。(ブラウザを閉たり、パソコンを終了させた場合は再起動ログイン後に「処理結 果参照」ボタンを押すと実行結果を確認できます。) 結果の一覧で「情報の取得」ボタンを押すと、カーソル位置の遺伝子の詳細情報をDDBJの データベースから獲得できます。前述のフラットファイル形式で表示されます(図 3-4)。

	・情報処理工学 Forum× http://www.ecoebug/main.html× http://xml.niion=AB051430 ×
LOCUS DEFINITION ACCESSION VERSION KEYWORDS	AB051430 1390 bp DNA linear BCT 05-DEC-2008 Tetrasphaera elongata gene for 16S rRNA, strain:ASP12. AB051430 AB051430.1
SOURCE ORGANISM	Tetrasphaera elongata Tetrasphaera elongata Bacteria; Actinobacteria; Actinobacteridae; Actinomycetales; Miarconseinase: Intrasportanziagose: Intrasphaera
REFERENCE AUTHORS TITLE	Micrococcineae; intrasporanglaceae; letrasphaera. 1 (bases 1 to 1390) Onda,S. and Takii,S. Direct Submission
JOURNAL	Submitted (21-NOV-2000) to the DDBJ/EMBL/GenBank databases. Contact:Shin Onda Tokyo Metropolitan University, Dept. of Biology; 1-1 Minami-Osawa, Hachioji, Tokyo 192-0397, Japan
REFERENCE AUTHORS	URL :http://www.metro-u.ac.jp/ 2 Onda,S. and Takii,S. Isolation and characterization of a Gram-positive
JOURNAL	polyphosphate-accumulating bacterium J. Gen. Appl. Microbiol. 48, 125-133 (2002)
FEATURES source	Location/Qualifiers 11390 /db_xref="taxon:101689"
	/mol_type= genomic UNA /organism="Tetrasphaera elongata"
	. "="
ズ 環境・生物	· 情報処理工学 Forum× http://www.ecoebug/main.html × http://xml.niion=AB030911 ×
図環境・生物 LOCUS DEFINITION ACCESSION	· 情報処理工学 Forum× http://www.ecoebug/main.html× http://xml.niion=AB030911 x AB030911 1443 bp DNA linear BCT 25-AUG-1999 Actinomycete Lp2 gene for 16S rRNA, partial sequence. AB030911 4 AD020011 1
図環境・生物 LOCUS DEFINITION ACCESSION VERSION KEYWORDS SOURCE ORGANISM	・ 情報処理工学 Forum× http://www.ecoebug/main.html× http://xml.niion=AB030911 × AB030911 1443 bp DNA linear BCT 25-AUG-1999 Actinomycete Lp2 gene for 16S rRNA, partial sequence. AB030911 AB030911.1 16S ribosomal RNA. actinomycete Lp2 Tetrasphaera elongata
□ 環境・生物 LOCUS DEFINITION ACCESSION VERSION KEYWORDS SOURCE ORGANISM	• 情報処理工学 Forum× http://www.ecoebug/main.html× http://xml.niion=AB030911 × AB030911 1443 bp DNA linear BCT 25-AUG-1999 Actinomycete Lp2 gene for 16S rRNA, partial sequence. AB030911 AB030911.1 16S ribosomal RNA. actinomycete Lp2 Tetrasphaera elongata Bacteria; Actinobacteridae; Actinomycetales; Micrococcineae; Intrasporangiaceae; Tetrasphaera. 1 (bases 1 to 1443)
☑ 環境・生物 LOCUS DEFINITION ACCESSION VERSION KEYWORDS SOURCE ORGANISM REFERENCE AUTHORS TITLE JOURNAL	· 情報処理工学 Forum× http://www.ecoebug/main.html× http://xml.niion=AB030911 × AB030911 1443 bp DNA linear BCT 25-AUG-1999 Actinomycete Lp2 gene for 16S rRNA, partial sequence. AB030911 AB030911.1 16S ribosomal RNA. actinomycete Lp2 Tetrasphaera elongata Bacteria; Actinobacteria; Actinobacteridae; Actinomycetales; Micrococcineae; Intrasporangiaceae; Tetrasphaera. 1 (bases 1 to 1443) Shintani,T., Hanada,S. and Nakamura,K. Direct Submission Submitted (09-AUG-1999) to the DDBJ/EMBL/GenBank databases.
☑ 環境・生物 LOCUS DEFINITION ACCESSION VERSION KEYWORDS SOURCE ORGANISM REFERENCE AUTHORS TITLE JOURNAL	·
■ 環境・生物 LOCUS DEFINITION ACCESSION VERSION KEYWORDS SOURCE ORGANISM REFERENCE AUTHORS TITLE JOURNAL REFERENCE AUTHORS TITLE JOURNAL	<pre>ifiteQu理TŸ Forum× http://www.ecoebug/main.html × http://xml.niion=AB030911 × AB030911 1443 bp DNA linear BCT 25-AUG-1999 Actinomycete Lp2 gene for 16S rRNA, partial sequence. AB030911 AB030911.1 16S ribosomal RNA. actinomycete Lp2 Tetrasphaera elongata Bacteria; Actinobacteria; Actinobacteridae; Actinomycetales; Micrococcineae; Intrasporangiaceae; Tetrasphaera. 1 (bases 1 to 1443) Shintani,T., Hanada,S. and Nakamura,K. Direct Submission Submitted (09-AUG-1999) to the DDBJ/EMBL/GenBank databases. Contact:Tomoyoshi Shintani Industrial Research Center of Ehime Prefecture, Laboratory of Food Process; 487-2 Kumekubota, Matsuyama, Ehime 791-1101, Japan URL :www.iri.pref.ehime.jp 2 Shintani,T., Hanada,S. and Nakamura,K. Actinomycete Lp2 gene for 16S rRNA, partial sequence Published Only in Database(1999)</pre>
■ 環境 - 生物 LOCUS DEF INITION ACCESSION VERSION KEYWORDS SOURCE ORGANISM REFERENCE AUTHORS TITLE JOURNAL COMMENT FEATURES SOURCE	image: image

図 3-4 遺伝子情報詳細

4 複数の遺伝子の比較

同じ機能を持つ遺伝子でも塩基配列には突然変異による違いがみられ、塩基配列を比較すると 違いの多い部分と少ない部分がみられます。機能的に重要な部分は突然変異により機能を失うこ とが多いので、重要な部分には違いが少ないと考えらています。よって、未知の遺伝子の機能を 推定するとにきは複数の配列の共通のパターンを解析すれば良いと考えられます。また、配列の 変異から遺伝子の進化と系統を解析することもできます。複数の配列を整列して比較して遺伝子 の解析を行うことをマルチプルアライメント(多重整列)といいます。

遺伝子系統解析 Web システムを使ってマルチプルアライメントを行ってみましょう。例として、前述の遺伝子相同性検索の結果として獲得された細菌の 16SrDNA 遺伝子を利用します。

DNA相同性検索	マルチブルアライン	C/ト 遗伝子系統樹作成	ログイン	ログアウト新規登録
・マルチプルア・	ライメント対象の塩	基配列データ:		
テキストの	 貼り付け、ファイル	ーーーーー Nら読込(マルチFastA形式フ	ァイル)	
				ファイル読込
			相同性検索の	結果から獲得する
· 塩基配列獲得	<u>データベース:</u>	アクセッション番号から配列を	獲得する場合に設定してください	v。(※このバージョンでは未対応)
🗹 入力な	きれたデータのみ	🔲 DDBJ全てデータ(DD)	BJ)定期リリース+新若データ(:	※未対応)
・多重整列アル	<u>·ゴリズム:</u>			
 Clus 	talW			
入力内	溶の送信	処理待ちリスト		処理結果参照

図 4-1 マルチプルアライメントタブ画面

まず、「マルチプルアライメント」 タブを開きます(図 4-1)。

「相同性検索の結果から獲得する」ボタンを押して、結果リストを表示してください(図 4-2)。以前に行った相同性検索の日時のレコードを選択して「結果表示」ボタンを押すと前回の結果画面が表示されます。この画面で「マルチプルアライメントへ」のボタンを押すと、マルチプルアライメント画面へデータがコピーされます。

で配列名は30文字以下、括弧や空白は に変換されまます。)

結果リ	スト					×
	名称	開始日付	状的	٤.	処理選択	
te	stonda1	10/11/17 05	:: EN	D	SIM:FASTA	•
te	stonda1	10/09/28 19	:: EN	D	SIM:FASTA	
te	stonda1	10/11/13 04	: EN	D	SIM:FASTA	
te	stonda1	10/09/28 19	:! EN	D	SIM:FASTA	
te	stonda1	10/11/17 06	: EN	D	SIM:FASTA	_
te	stonda1	10/11/17 06	:: EN	D	SIM:FASTA	=
te	stonda1	10/11/18 20	:! EN	D	SIM:FASTA	
						•
J	戻る		削除		結果表示	

図 4-2 結果リスト画面

Page.11 ecobioinfo.com 2010.11.22 All rights reserved

マルチプルアライメント画面で送信するデータは、図 4-3 に示すように、それぞれの遺伝子の行の先頭が半角の > で始まって配列名、塩基配列の順に並ぶ形式とします。この形式はマルチ FastA 形式と呼ばれています。(「ファイル読込」ボタンで、他から獲得・編集したマルチ FastA 形式のファイルを読み込むこともできます。)

		ファイル読込
>sample aacacatgcaagtcgaacggtgacgaggagcttgctcctccgatcag agtaacacgtgagtaacctgccccagactctggaataacagttggaa ccggatacgagacggagaggcatctctaccgtctggaaagtttttcg tcgcggcctatcagcttgttggtgaggtagtggctcaccaaggcgac	tggcgaacgggtg acagctgctaata gtctgggatggac gacgggtagccgg	
gcagtggggaatattgcacaatgggcgaaagcctgatgcagcaacgc acggccttcgggttgtaaacctctttcagtagggaagaagcgaaagt	cgcgtgagggatg gacggtacctaca	
	相同性検索の経	結果から獲得する
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 整列アルゴリズム: ● ClustalW 	リリース+新着データ(氵	※未対応)
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 ^整列アルゴリズム: ○ ClustalW マルチ FastA 形式 例) 	リリース+新着データ(氵	*未対応)
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 整列アルゴリズム: ● ClustalW マルチ FastA 形式 例) >sampleNo. 1 	リリース+新若データ(>	*未対応)
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 整列アルゴリズム: ● ClustalW マルチ FastA 形式 例) >sampleNo. 1 ATGCATGCATGCATGC 	リリース+新若データ(氵	*未対応)
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 整列アルゴリズム: ● ClustalW マルチ FastA 形式 例) >sampleNo. 1 ATGCATGCATGCATGC ATGCATGCATGCATGC 	辿リース+新若データ(シ	*未対応)
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 整列アルゴリズム: ● ClustalW マルチ FastA 形式 例) >sampleNo. 1 ATGCATGCATGC ATGCATGCATGC >sampleNo. 2 	リリース+新若データ(>	*未対応)
 ✓ 入力されたデータのみ □ DDBJ全てデータ(DDBJ)定期 空別アルゴリズム: ○ ClustalW マルチ FastA 形式 例) >sampleNo. 1 ATGCATGCATGC ATGCATGCATGC ATGCATGCATGCATGC >sampleNo. 2 ATGCATGCATGCATGC > sampleNo. 2 > >	辿リース+新若データ(シ	*未対応)

図 4-3 マルチプルアライメント検索入力画面 マルチ FastA 形式のデータ

「入力内容の送信」ボタンを押すと処理待ち画面が表示され、処理が終わると図 4-4 のような結果画面が現れます。結果の下の*の記号が変異のない部分(共通する部分)を表しています。記号の-はギャップで、この部分にフレームシフト突然変異が起こった可能性を示しています(先頭と最後の-については塩基配列が登録されていないという意味です)。

·····	-	
sample	AACACATG	
AB051430_1 Tetrasphaera_elonga	AACACATG	
AB030911_1 actinomycete_Lp2 16	GACGAACGCTGGCGGCGTGCTTAACACATG	
AF408982_1 Tetrasphaera_spEl	CAGACGAACGCTGGCGGCGTGCTTAACACATG	
AF408957 1 Tetrasphaera sp. El	GTCAGACGAACGCTGCCGGCGTGCTTAACACATG	
AF408992_1 Tetrasphaera_spEl	TGTAGACGAACGCTGCCGGCGTGCTTAACACATG	
F409018_1 Tetrasphaera_spEl		
M398397_1 Lapillicoccus_jejue	GGCGTGCTTAACACATG	
20571163_1 eubacterium_sp17-	TG	
B072496_1 Tetrasphaera_duodec	AGAGTTTGATCCTGGCTCAGGACGAACGCTGGCGGCGTGCTTAACACATG	
W707564_1 Tetrasphaera_spYC	CATG	
Y522568_1 Janibacter_melonis	GACGAACGCTGGCGGCGTGCTTAACACATG	
Q812538_1 Knoellia_sp0-008	TCATGGCTCAGGACGAACGCTGGCGGCGTGCTTAACACATG	
[14597_1 Tetrasphaera_jenkinsi	GATTTGATCCTGGCTCAGGACGAACGCTGGCGGCGTGCTTAACACATG	
Q007319_1 Tetrasphaera_jenkin	TGGCGGCGTGCTTAACACATG	
-		
• ا		•

sample

AB051430_1|Tetrasphaera_elonga AB030911_1 | actinomycete_Lp2 | 16 AF408982_1 | Tetrasphaera_sp. _EI AF408957_1|Tetrasphaera_sp._El AF408992_1|Tetrasphaera_sp._El AF409018_1|Tetrasphaera_sp. _EI AM398397_1|Lapillicoccus_jejue EU571163_1 | eubacter i um_sp. _17-AB072496 1|Tetrasphaera duodec EU707564_1 | Tetrasphaera_sp. _YC AY522568_1|Janibacter_melonis| DQ812538_1 | Knoellia_sp. _0-008 | Y14597_1|Tetrasphaera_jenkinsi DQ007319_1 Tetrasphaera_jenkin DQ007321_1|Tetrasphaera_jenkin X85212_1|Tetrasphaera_jenkinsi X85211_1|Tetrasphaera_jenkinsi AF125091_1|Tetrasphaera_austra AF125090_1|Tetrasphaera_austra DQ007320_1|Tetrasphaera_vanvee CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CCGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CCGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CCGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACCTCGAGAGCTT-GCTCTTGGGTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACCTCGAGAGCTT-GCTCTCGGGTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACCTCGAGAGCTT-GCTCTTGGGTGATCAGTGGCGA -CGCGAGAGCTTTGCTCTTGGGTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACCTCGAGAGCTT-GCTCTTGGGTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACGACAGGAGCTT-GCTCCGGTCTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGAAGGTGGGAGCTT-GCTTCTACCGGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACCGAGGAAGCTT-GCTCCT-CGTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGAACCTTGGAGCTT-GCTCTAAGGGGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGATCTTGGGAGCTT-GCTCCTGGGTGAGCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CTGATCAGTGGCGA CAATTCGAACGGTGACC--AGGAGCTT-GCTCCT--GTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACC--AGGAGCTT-GCTCCT--GTGATCAGTGGCGA CAAGTCGAACGGTGACG--AGGAGCTT-GCTCCT--CTGATCAGTGGCGA **** *** ** *******

図 4-4 マルチプルアライメント実行結果

5 遺伝子から進化の推定

異なる生物で共通な、同じ働きをする遺伝子のDNAやRNAの塩基配列を比較することによって、遺伝子の進化的な近縁関係を推定することができると言われています。この遺伝子レベルでの近縁関係を求めることを遺伝子系統解析、それを図にしたものを遺伝子系統樹(図 5-1、図 5-2)と呼びます。系統樹の表記方法にも有根系統樹と無根系統樹があり、一般的には進化の起源を示さずに遺伝的な類似性をのみを表す場合は無根系統樹を使います(図 5-2)。

PPARG CANFA 17	
ー PPARG PIG ブタ	
PPARG RABIT ウサギ	
PPARG CRIGR NLZター	
PPARG RAT ラット	
PPARG MOUSE ハツカネズミ	
PPARG BOVIN ウシ	
4	PPARG XENLA
	アフリカツメガエル
PPARG MACMU マカクサル 0.1	

図 5-1 遺伝子系統樹の例(PPAR-γ遺伝子の系統)



図 5-2 遺伝子系統樹の例(インフルエンザの膜タンパクの系統)

遺伝子系統解析の手順は、まず対象となる遺伝子のマルチプルアライメントを行い、それから進 化距離(遺伝子の類似の程度)を求め遺伝子系統樹を作成します。遺伝子系統樹を作成するア ルゴリズムには、近接結合法(Neighbor-Joining Method/NJ法と略す)、最大節約法(maximum parsimony method)など、いくつかの方法がありますが、それぞれ生物学的な意味合いの異なるも ので目的や背景によって合理的な方法を選びます。 前述のマルチプルアライメ ントの結果を利用して、系統 樹を書いてみましょう。遺伝子 系統解析 Webシステムで「遺 伝子系統樹作成」タブを開き 「マルチプルアライメントの結 果から獲得する」ボタンを押し て前回のマルチプルアライメ ントの結果を獲得してください。 結果リスト画面から前回の処 理日時のレコードを選択して 処理結果画面を開き「系統樹 作成へ」ボタンを押すと獲得 できます(図 5-3)。

「遺伝子系統樹作成」タブ画 面で「入力内容の送信」ボタ ンを押してしばらく待つと図 5-4のような処理結果画面が表 示されます。

DNA相同性検索	マルチブルアライ	X21 遗伝子系統樹作成		H242	HANAL	潮泥空
<u>・多重整列デー</u> テキストの	<u>タ:</u> 貼り付け、ファイル:	から読込(CLUSTAL形式の	テキストファイ	(11)		
					ファイル読込	
CLUSTA	L 2.0.10 multi	ple sequence alignmen	ıt			▲
sample AB0514 AB0309 AF4089	30_1 Tetraspha 11_1 actinomyc 32_1 Tetraspha	 era_elonga ete_Lp2 16 era_spEl		GACGAACGCT	AACAC AACAC GGCGGCGTGCTTAACAC GGCGGCGTGCTTAACAC	A A A
•		1111				
				マルチブルアライメン	トの結果から獲得する	
<u>・結果の獲得方</u> ● テキ: <u>・系統樹作成ア</u>	ī <u>法:</u> スト(Ph形式) フルゴリズム:	○ 系統樹描画編集ツール	を自動起動	※別ウィンドゥ、または PopUpのを設定を	切ゆづで開きます。 許可にしてください。	
 Clus 	talW N-J 法					
入力体	密の送信	処理待ちリスト			処理結果参	R

図 5-3 遺伝子系統樹作成タブ画面

理結果 ログイン ログイン	аў
(-
	=
	=
sample:0.00000,	
AB051430_1 Tetrasphaera_elonga:0.00000)	
:0.00000,	
AB030911_1 actinomycete_Lp2 16:0.00214)	
0.00892,	
(
(
AY522568_1 Janibacter_melonis :0.01388,	
DQ812538_1 Knoellia_sp0-008 :0.01276)	
:0.00739,	
(
(
(•
	_
キャンセル ファイル保存 系統樹描画編集ツール起動	ġ.
・系統撮作成アルゴリプム:	_

図 5-4 遺伝子系統解析の処理結果(Newick 形式)

この結果(図 5-4)の表しているものは、系統関係と進化距離をテキスト形式で表したもので Newick形式と呼ばれています。画面の「系統樹描画編集ツール起動」を押すと系統樹描画編集 Webページが別のウインドウ(またはタブ)で開き遺伝子系統樹が現れます(図 5-5)。



図 5-5 系統樹描画編集 Web ページと処理結果の遺伝子系統樹

この結果(図 5-5)の場合は、sampleの細菌は、Tetrasphaera 属の系統に属していることがわかります。

この例の場合はサンプルとして既知の塩基配列を用いましたが、未知の微生物から抽出した塩 基配列で相同性検索や遺伝子系統解析を行うことによって、未知の細菌の系統関係を求めること ができます。近縁のデータがない場合は新種・新型の微生物である可能性が考えられます。充分 に研究されている分類群の場合はその細菌の種類が判別できるので、遺伝子を利用した微生物 の検出技術に応用することができます。

END